

# 「東日本大震災復旧・復興工事 合同安全衛生パトロール」を実施！

建設技術振興課

東日本大震災津波の復旧・復興工事が本格化する中、工事現場における労働災害が増加していることを受け、11月12日（水）に岩手労働局・建設労働災害防止協会岩手県支部と合同で、釜石市内の港湾災害復旧工事と海岸災害復旧工事の安全衛生パトロールを実施しました。

三者による合同パトロールは初めての取り組みです。



死亡労働災害は、墜落転落によるケースが上位を占めることから、今回のパトロールでは、足場の周囲に転落防止ネットが張られているか、安全ベルトを固定するロープが設置されているかなどの点を重点的に確認しました。

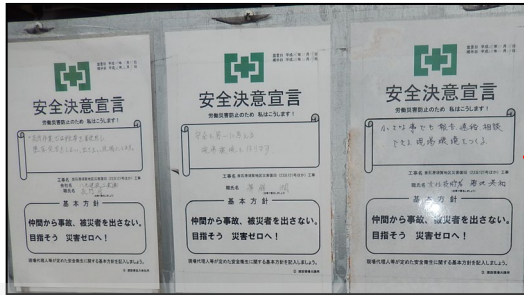
なお、県土整備部所管工事では平成25年度に1件の死亡事故が発生しています。

【平成25年 死亡労働災害発生状況（岩手労働局管内）】

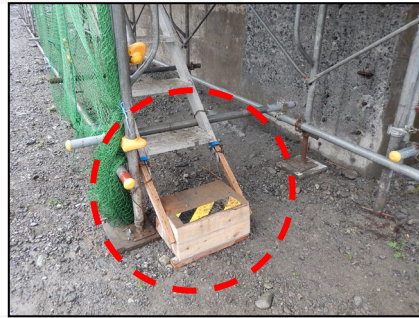
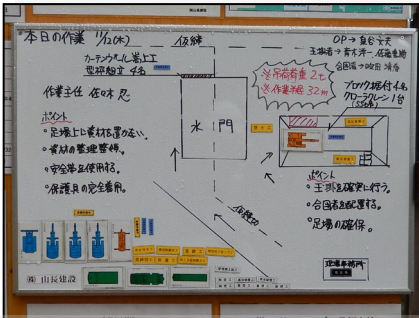
業種別	建設業4人 林業3人 商業3人 運輸業2人 製造業1人 鉱業1人 左記以外5人	合計 19人
監督署管内別	一関5人 二戸5人 盛岡3人 花巻2人 宮古2人 釜石1人 大船渡1人	
事故の原因別	墜落転落5人 交通事故4人 激突され3人 飛来落下2人 はさまれ巻き込まれ2人 転倒1人 破裂1人 崩壊倒壊0人 切れこすれ0人 おぼれ0人 激突0人 感電0人 高温の物との接触0人 その他1人	

両現場とも、労働災害防止に積極的に取り組んでおり、墜落転落防止の措置が図られていました。パトロール実施後、三者から講評が行われ、佐藤県土整備部長からは「必要な安全管理が行われている。一日も早い復旧復興に取り組んでいるところであるが、現場の安全の確保が最優先であり、引き続き安全に配慮してほしい」との発言がありました。

【取組み事例】絵や図を使った分かりやすい表示、細部への気配りなど工夫が凝らされていました。



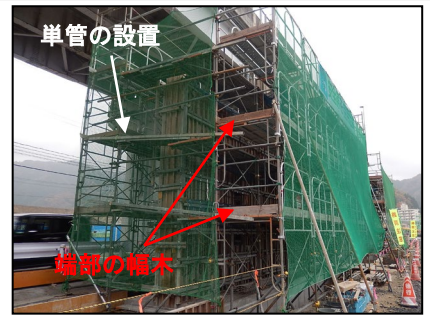
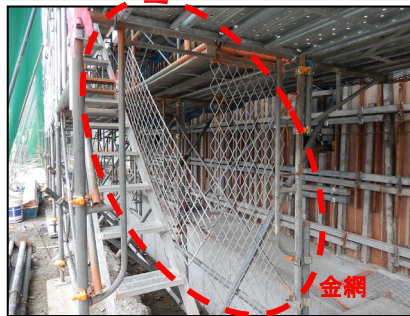
作業員直筆の『安全決意宣言』。目に付くところに張り出しています。



- (左) 掲示板にホワイトボードを設置し、朝礼時に「本日の作業」を周知する際、安全のポイントもあわせて説明しています。
- (中) 足場階段と地面の間に、有り材でもう一段階段を追加し、つまずきを防止しています。
- (右) 足場階段頭上手りに、トラテープを巻き、注意喚起をしています。

☆あなたの現場はどうですか？ 安全施工のためのアドバイス☆

釜石労働基準監督署の川上署長から、今回パトロールした現場で実施していた参考になる取組みについてアドバイスいただきましたので、現場に行く際に参考にしてください！



- (左・中) 落下防止のため、ネットや現場の有り材で足場横や階段横の開口部を塞いでいます。足場板での対応が難しい箇所の事例として、参考になります。
- (右) 端部にも幅木が設置されています。幅木の設置が難しい箇所は単管などで対応することも可能です。



- (左) 道路路肩からの車両の転落を防止するため、路肩に盛土をしています。H=0.3m W=0.5m程度が望ましいですが、現場状況に応じて調整してください。
- (右) 作業を行わない所は、立入禁止措置を取ることも、安全対策の1つの方法です。